

# 資格検定 NEWS



## 技能検定 機械検査 3 級

機械部品やその取付精度を正しくかつ迅速に測定することは工業の重要な要素です。検定では学科試験と実技試験が課されます。学科試験は真偽選択式（マルバツ式）で、実技は以下の3つの作業が課されます。

作業1 外側マイクロメータ、ノギス及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定(16箇所)を

行う。  
試験時間 16分

作業2 三針法によるねじプラグゲージの有効径を測定する。  
試験時間 8分

作業3 外側マイクロメータの指示誤差(器差)測定（ブロックゲージ使用）を行う。  
試験時間 10分

学科試験は100点満点で65点以上、実技試験は60点以上が合格の基準で、両方とも合格すれば「技能士」の資格を得ます。